

第 63 回青垣中学校文化祭近づく…

10月30日（月）

早いもので、明日で10月も終わります。早朝の気温は10℃を下回るようになり、木々も色づき始めました。今週末の11月4日（土）が丹波市立青垣中学校第63回文化祭です。演劇のステージ練習も始まり、生徒たちは台詞覚えや大道具の制作に悪戦苦闘しています。真剣に取り組んだクラスが最もよい演劇を創り上げることは間違いありません。どんな時でも裏方とキャストが協力しいい演劇に仕上げてください。何十年後も心に残るような、また、見る人の記憶に残るような素晴らしい演劇にしてください。短い練習期間でも、体育大会で感じたように『さすが青中生だ』と言わせてください。役者（キャスト）が心がけなければならないことは、批評を良く聞くことです。アドバイスは必ず台本に書き留めましょう。役者は一番大変です。せっかく役者をやるわけですから、存分に頑張っ、楽しんでください。また、ふざけないこと。練習中、どうしてもふざける人が出てきます。それを止めるのも仲間としての義務です。では、表現としては次のようなことをひそかに練習してみましょう。恥ずかしがってはダメです。恥ずかしがっていては見る人に伝えたいことが全く伝わりません。頑張ってください。



- ①『私を知ってるの？』（驚いたように、悲しそうに、嬉しそうに、からかうように、悔しそうに）
- ②『あなたって面白い人ね』（バカにしたように、さみしげに、笑いながら、改まって）
- ③『これから行くの。あそこに。』（びっくりして、ゆかいそうに、さみしそうに）
- ④『ありがとう』（忠告してくれた人に、物をくれた人に、褒めてくれた人に）
- ⑤『この中に毒が入っているの』（自分で確かめて、人から聞いて、人が飲んだ後に、冗談で）
- ⑥『何を見てるのよ』（野次馬がいっぱいいるとき、人の着替えを見ているとき、日記を見られたとき）
- ⑦『もし、イヤって言ったら？』（ふざけて、怒って、暗く、真剣に、困って）
- ⑧『どうしてか分かりますか？』（疑問、訴えるように）

※⑥などは、やや同じような表現になるかもしれませんが、同じことばでも、そのときの状況によって表現は違ってきます。棒読みでは、何を伝えたいのかが分かりません。

